

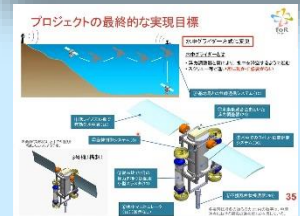
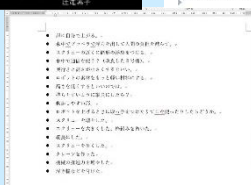
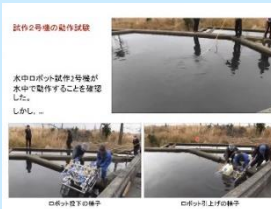
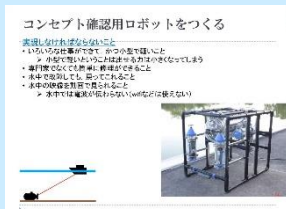
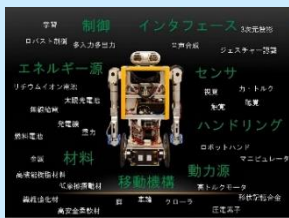
# 新潟ジュニアドクター育成塾

R2.11.22 No.6

## 科学基礎講座（科学と社会）：高橋隆行先生（福島大学共生システム理工学類）

高橋隆行教授からは「東日本大震災復興とロボット」についてお話いただきました。マスタープログラム受講生34名が参加しました。ロボット1台を作るのに必要な知識、ロボット開発の流れ、震災復興で活躍するロボット、ロボットが活躍できる場所、高橋研究室が開発した水中ロボット、水中ロボット1号機開発の過程や苦労と課題、2号機(改良型)の開発などについて、わかりやすく解説してもらいました。途中で「2号機の工夫点」について、学年ごとに小

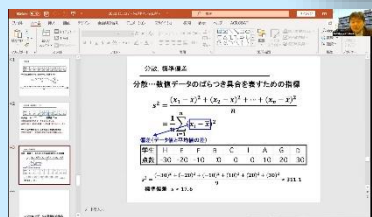
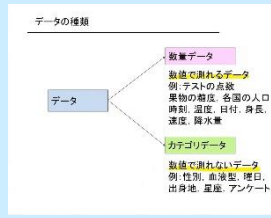
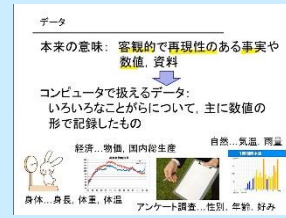
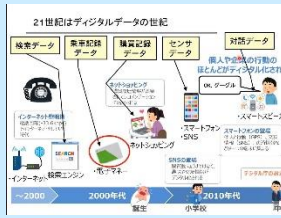
グループに分かれてアイデアを出し合って検討することも行いました。受講生だけで話し合うのは初めてでしたが、進行役の人がとても上手に1人1人の考えを聞き取っていました。猪苗代湖の水中で、実際に働いているロボットの様子を紹介する動画やニュース映像もあり、受講生は興味をもって講座に臨んでいました。



## 科学基礎講座（データリテラシー）：山崎達也先生（新潟大学工学部）

山崎達也教授の講座は「データを科学する」がテーマでした。マスタープログラム受講生35名が参加しました。21世紀はデジタルデータの世紀、デジタルデータの種類と利用、数字のまとまりを分析するのが統計学、数値の形で記録できるものが数量データといいコンピュータで扱えるもの、数量データには連続データと離散データがある、データをいろいろなグラフで表すとわかりやすくなる、グラフの種類の使い方について、など、小中学生の受講生にとってはかなりレベルの高いお話でした。受講生は配布済の「統計学入門：滝川好夫著：新星出版

社」を読んで、ある程度の基礎知識を獲得した上で講座に臨んでいたので、理解できた受講生も多くいたようです。後半は、エクセルの使い方の演習でした。事前アンケートによると、エクセルを使ったことがない受講生が多かったため、初歩段階からわかりやすく解説していただきました。その後グループに分かれて、グラフを作る演習を行いました。受講生は、Zoomの画面とエクセルの画面をマルチに見ながらなので、戸惑う場面もありましたが、必死に理解しようと努力していました。



※この取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「ジュニアドクター育成塾」事業(2019年度～2023年度)に採択されています。